

2011年 9月 1日

北海道電力株式会社

取締役社長 佐藤佳孝様

「脱原発・クリーンエネルギー」市民の会

代表 船橋 奈穂美

代表 小野 有 五

代表 山田 剛

代表 山田 富士雄

代表 藤 門 弘

## 「泊原発3号機のプルサーマル計画」にかかわる「メール」問題に 対する抗議と申し入れ

貴職におかれましては、広大な北海道の全域に電力供給を行うために日夜ご尽力され、道民生活の維持向上に大きく貢献されていることに対し敬意を表します。

さて、北海道電力は、26日、2008年10月に後志管内岩内町で開催された道主催の泊原発3号機のプルサーマル計画に関するシンポジウムにおいて、関係部署の社員に対してシンポジウムに参加し、賛成の意見を促すメールを送信していたことを認めました。

メールでは、「プルサーマル計画を確実に進めるためにも、数多くの方々にご参加いただき推進意見を提出していただければと思っています」としており、明らかに「賛成誘導」の「やらせ」と言わざるを得ません。地元住民の意見を公平に聞くはずの場で、プルサーマル計画推進に向けた「世論誘導」が行われていたことは、道民・国民を冒瀆するもので断じて容認できるものではなく、強く抗議します。

さらに、同年8月の国主催のシンポジウムについては、今年7月、「社員の動員はなかった」との調査結果を経済産業省に報告していたにもかかわらず、昨日になって「動員を認める」ことは、「虚偽報告」「隠蔽体質」との指摘は免れません。

これらシンポジウムは、道が翌年に計画受け入れの判断を下した根拠の一つになったとされています。こうした「やらせ」が明らかになった以上、「計画容認」に対する信頼性は損なわれたと言わざるを得ません。つきましては、下記の事項を申し入れますので、誠意ある対応を要請いたします。

### 記

1. 泊原発3号機のプルサーマル計画を白紙撤回すること。
2. MOX燃料の製造などすべての工程を直ちに停止すること。
3. 過去のすべてのシンポジウム等を含め、真相解明し、早期に道民に全容を明らかにすること。

以上